

病床配分希望について（区南部）

《説明対象医療機関》

2医療機関

- ※ 本資料は病床配分を希望する申請者が、自身の希望・意向に基づき作成したものである。
- ※ 本資料の会議及び東京都福祉保健局ホームページ上での公開については、各申請者の了承を得ている。

病床配分希望について

開設者名	社会医療法人財団仁医会	開設者所在地	東京都大田区西蒲田8丁目20番1号																																																									
医療機関名	牧田リハビリテーション病院	医療機関所在地	東京都大田区西蒲田4丁目22番1号																																																									
診療科目	内科、リハビリテーション科																																																											
整備概要	(整備区分) <input type="checkbox"/> 開設 <input checked="" type="checkbox"/> 増床 <input type="checkbox"/> 移転・増床 <input type="checkbox"/> 移転(増床しない)																																																											
	(病床の整備計画) ※当該二次医療圏における医療機能との整合性も踏まえて記載すること 当院は回復期リハIに加えて、社会医療法人として地域で入院先に困っている難病患者向けに療養1を有し、両病棟とも98%を超える稼働率となっており、地域の患者様に対してご入院をお待たせしてしまっている状況となっております。前回の増床計画で承認いただきました39床の回復期リハビリテーション病棟を増設いたしました。しかしながら、受け入れ病床数は患者数に対し絶対数が不足しており、新たに21床の増床を申請し、承認をいただき、地域の急性期病院で転院が難しい患者の受け取りを通じて地域医療に貢献したいと考えております。稼働開始いたしました新病棟、病室の工事は既に終了しており、ベッド等什器の準備が整い、人員配置を済ませ、今般追加の21床の承認をいただければ、最大60床の病棟として稼働が即時開始できます。また新病棟においては陰圧装置、透析装置も設置し、感染症の廃用期の患者受け入れ、回復期では受け入れの難しい透析患者の受け入れ態勢も整っております。このように従来の在宅復帰へ向けた患者の他に多種多様な患者受け入れも対応可能なことから、即時整備を進め、地域貢献に邁進して参ります。																																																											
	(設備整備の計画) ※高額医療機器の導入など 2021年9月稼働開始となりました、39床開設に伴い、透析機器、レスピレーターなどは既に導入しており、増床承認時には更に対象患者数を想定した、レスピレーター等の導入を計画している。																																																											
	(雇用計画) ※医師・看護師・その他(薬剤師等)の採用方法・人数など 新年度2022年4月には既にリハビリテーション科医師1名の採用は確定しており、更にもう一名の採用を検討している。看護師については回復期リハビリテーション病棟として13対1の看護体制取得に向け、既に21床獲得後の人員数は4月採用内定を確定しており、順次入職予定。看護補助者も紹介会社等を利用し、体制の不足はないがシフト上の不足がないよう採用対応中。薬剤師・管理栄養士については既に1名増員対応済み。リハビリのセラピストについては増員対応中。法人内勤務者の勤務地変更等を含め最低取得単位数6.0以上を実施できる体制を整え、早期退院を目標に9.0単位数取得を目標に日々患者さんと取り組んでいる。																																																											
	(想定する診療報酬) ※回復期リハI ○床など新規開設・増床分のみ記載 2021年9月に稼働開始となりました新病棟が療養算定にて開始となり、同年10月には回復期リハVで39床を算定中。2022年2月までは回復期リハVにて算定予定。その後2022年3月には回復期リハIを取得し算定請求予定。その病棟を21床の増床申請をしており、許認可が下りる予定の翌月2022年4月以降に同診療報酬にて算定請求対応予定。																																																											
	(病床稼働率) ※直近の施設表の数値。新規開設の場合は記入不要 100.4 %																																																											
(病床数)																																																												
<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;"> <現行病床数> ※機能別内訳は、病床機能報告と同様の方法で記載すること 移転する場合は、移転前の病床数を記入すること </td> <td style="text-align: center;"> <希望病床数> ※新規開設・増床分を記載すること 増床しない場合(移転のみの場合)は空欄にすること </td> <td style="text-align: center;"> <希望病床数反映後> ※機能別内訳は、病床機能報告と同様の方法で記載すること 移転する場合は、移転後の病床数を記入すること </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>159 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>159 床</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>21 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>21 床</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>180 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>180 床</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>高度急性期機能</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>急性期機能</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>回復期機能</td><td>2 (病棟)</td><td>99 (床)</td></tr> <tr><td>慢性期機能</td><td>1 (病棟)</td><td>60 (床)</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>21 (床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>2 (病棟)</td><td>120 (床)</td></tr> <tr><td>1 (病棟)</td><td>60 (床)</td></tr> </table> </td> </tr> </table>			<現行病床数> ※機能別内訳は、病床機能報告と同様の方法で記載すること 移転する場合は、移転前の病床数を記入すること	<希望病床数> ※新規開設・増床分を記載すること 増床しない場合(移転のみの場合)は空欄にすること	<希望病床数反映後> ※機能別内訳は、病床機能報告と同様の方法で記載すること 移転する場合は、移転後の病床数を記入すること	<table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>159 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>159 床</td></tr> </table>	一般	床	療養	159 床	計	159 床	<table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>21 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>21 床</td></tr> </table>	一般	床	療養	21 床	計	21 床	<table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>180 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>180 床</td></tr> </table>	一般	床	療養	180 床	計	180 床	<table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>高度急性期機能</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>急性期機能</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>回復期機能</td><td>2 (病棟)</td><td>99 (床)</td></tr> <tr><td>慢性期機能</td><td>1 (病棟)</td><td>60 (床)</td></tr> </table>	機能別内訳	高度急性期機能	(病棟)	(床)	急性期機能	(病棟)	(床)	回復期機能	2 (病棟)	99 (床)	慢性期機能	1 (病棟)	60 (床)	<table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>21 (床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> </table>	機能別内訳	(病棟)	(床)	(病棟)	(床)	(病棟)	21 (床)	(病棟)	(床)	<table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>2 (病棟)</td><td>120 (床)</td></tr> <tr><td>1 (病棟)</td><td>60 (床)</td></tr> </table>	機能別内訳	(病棟)	(床)	(病棟)	(床)	2 (病棟)	120 (床)	1 (病棟)	60 (床)
<現行病床数> ※機能別内訳は、病床機能報告と同様の方法で記載すること 移転する場合は、移転前の病床数を記入すること	<希望病床数> ※新規開設・増床分を記載すること 増床しない場合(移転のみの場合)は空欄にすること	<希望病床数反映後> ※機能別内訳は、病床機能報告と同様の方法で記載すること 移転する場合は、移転後の病床数を記入すること																																																										
<table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>159 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>159 床</td></tr> </table>	一般	床	療養	159 床	計	159 床	<table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>21 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>21 床</td></tr> </table>	一般	床	療養	21 床	計	21 床	<table border="0"> <tr><td>一般</td><td>床</td></tr> <tr><td>療養</td><td>180 床</td></tr> <tr><td>計</td><td>180 床</td></tr> </table>	一般	床	療養	180 床	計	180 床																																								
一般	床																																																											
療養	159 床																																																											
計	159 床																																																											
一般	床																																																											
療養	21 床																																																											
計	21 床																																																											
一般	床																																																											
療養	180 床																																																											
計	180 床																																																											
<table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>高度急性期機能</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>急性期機能</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>回復期機能</td><td>2 (病棟)</td><td>99 (床)</td></tr> <tr><td>慢性期機能</td><td>1 (病棟)</td><td>60 (床)</td></tr> </table>	機能別内訳	高度急性期機能	(病棟)	(床)	急性期機能	(病棟)	(床)	回復期機能	2 (病棟)	99 (床)	慢性期機能	1 (病棟)	60 (床)	<table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>21 (床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> </table>	機能別内訳	(病棟)	(床)	(病棟)	(床)	(病棟)	21 (床)	(病棟)	(床)	<table border="1"> <tr><td rowspan="4">機能別内訳</td><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>(病棟)</td><td>(床)</td></tr> <tr><td>2 (病棟)</td><td>120 (床)</td></tr> <tr><td>1 (病棟)</td><td>60 (床)</td></tr> </table>	機能別内訳	(病棟)	(床)	(病棟)	(床)	2 (病棟)	120 (床)	1 (病棟)	60 (床)																											
機能別内訳		高度急性期機能	(病棟)	(床)																																																								
		急性期機能	(病棟)	(床)																																																								
		回復期機能	2 (病棟)	99 (床)																																																								
	慢性期機能	1 (病棟)	60 (床)																																																									
機能別内訳	(病棟)	(床)																																																										
	(病棟)	(床)																																																										
	(病棟)	21 (床)																																																										
	(病棟)	(床)																																																										
機能別内訳	(病棟)	(床)																																																										
	(病棟)	(床)																																																										
	2 (病棟)	120 (床)																																																										
	1 (病棟)	60 (床)																																																										
開設予定時期	令和 4 年 7 月頃	地区医師会との調整状況	<input checked="" type="checkbox"/> 調整済 <input type="checkbox"/> 調整中																																																									

地域の関係者(地区医師会や区市町村等)との調整経過

調整年月日	出席者	調整内容(要旨)
令和 3年 8月 2日	(先方) 大田区健康政策部 保健所 災害時医療担当課長 副参事(地域医療担当)兼務 上田 哲也様 大田区健康政策部 保健所 健康医療政策課 地域 医療政策担当係長 須貝 勇哉様 (当方) 社会医療法人財団仁医会牧田総合病院 事務局長 越智 芳晴	新本院の稼働状況を説明させていただき、今後の牧田リハビリテーション病院(旧蒲田分院)の増床計画を説明。当初60床の回復期リハ病棟の増床を計画し、令和元年に39床の増床は認可されましたが、新本院の本格稼働に伴い、急性期病棟から回復期リハ病棟・在宅へと円滑な患者ルートの構築のためには、残りの21床の増床が不可欠と判断しておりますので、認可に向けて協力をお願いいたしました。前向きな協力姿勢をお示しいただきました。
令和 3年 8月 19日	(先方) 蒲田医師会会長 横川 敏男様 (当方) 社会医療法人財団仁医会牧田総合病院理事長 荒井 好範 人事部課長秘書兼務 金澤 蓮奈	新本院の稼働状況を説明させていただき、今後の牧田リハビリテーション病院(旧蒲田分院)の増床計画を説明。当初60床の回復期リハ病棟の増床を計画し、令和元年に39床の増床は認可されましたが、新本院の本格稼働に伴い、急性期病棟から回復期リハ病棟・在宅へと円滑な患者ルートの構築のためには、残りの21床の増床が不可欠と判断しておりますので、認可に向けて協力をお願いいたしました。前向きな協力姿勢をお示しいただきました。
令和 3年 12月 15日	(先方) 大田区健康政策部長 木田 早苗様 大田区健康政策部保健所 災害時医療担当課長 副参事(地域医療担当)兼務 上田 哲也様 蒲田医師会会長 横川 敏男様 蒲田医師会副会長 木原 正義様 蒲田医師会理事 高野 研一郎様 蒲田医師会理事 小山 豊様 大森医師会理事 鈴木 央様 田園調布医師会 森山 正敏様 東京都保健医療公社荏原病院副院長 野津 史 彦様 田園調布中央病院院長 石田 順朗様 (当方) 社会医療法人財団仁医会牧田総合病院理事長 荒井 好範 牧田リハビリテーション病院事務長 江間 理泰	【地域医療構想調整会議 分科会】 新本院の稼働状況を説明させていただき、今後の牧田リハビリテーション病院(旧蒲田分院)の増床計画を説明。当初60床の回復期リハ病棟の増床を計画し、令和元年に39床の増床は認可されましたが、新本院の本格稼働に伴い、急性期病棟から回復期リハ病棟・在宅へと円滑な患者ルートの構築のためには、残りの21床の増床が不可欠と判断しておりますので、認可に向けて協力をお願いいたしました。また地域の回復期病棟の不足からも今回の増床計画においては、前向きな協力姿勢をお示しいただきました。

※記載欄が不足する場合は、適宜、行の追加や高さの変更を行っても差し支えない。

※出席者欄には、申請者側の出席者のほか、了解を得られた場合は、調整相手方の出席者についても記載すること。会議形式で多数に渡る場合は主な出席者のみで差し支えない。

※調整内容(要旨)欄は、申請者が伝えた内容や相手方の反応等を中心に簡潔に記載すること

地域の関係者(地区医師会や区市町村等)との調整経過

調整年月日	出席者	調整内容(要旨)
令和 3 年 12 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・木田早苗氏 (大田区 健康政策部長) ・上田哲也氏(大田区健康医療政策課災害時医療担当課長 副参事※地域医療担当) ・横川敏男氏(蒲田医師会 会長) ・木原正義氏(蒲田医師会 副会長) ・高野研一郎氏(蒲田医師会 理事) ・小山豊氏(蒲田医師会 理事) ・鈴木央氏(大森医師会 理事) ・森山正敏氏(田園調布医師会 理事) ・野津史彦氏(東京都保健医療公社 荏原病院 副院長) ・石田順朗氏(田園調布中央病院 院長) ・荒井好範氏(社会医療法人財団 仁医会 理事長) ・江間理泰氏(社会医療法人財団 仁医会 牧田リハビリテーション病院 事務長) ・遠田慎吾(仮称 遠田脊椎外科 院長) ・佐藤卓哉(仮称 遠田脊椎外科 事務) 	<p>東京都地域医療構想調整会議 分科会 (蒲田医師会館にて開催) 申請者である遠田より病床申請内容および診療所計画の概要について説明を実施した。 その後質疑の時間が設けられ、主に計画医療機関での診療内容および地域の既存医療機関との連携について協議があり、申請者遠田より地域内での病診連携、診診連携(術前、術後患者の相談など)をお願いしたい旨お伝えし、蒲田医師会をはじめ大森医師会、田園調布医師会からもご賛同いただいた。 結果、出席者各位より異論は無く計画内容に理解をいただいた。</p>
令和 年 月 日		

※記載欄が不足する場合は、適宜、行の追加や高さの変更を行っても差し支えない。

※出席者欄には、申請者側の出席者のほか、了解を得られた場合は、調整相手方の出席者についても記載すること。会議形式で多数に渡る場合は主な出席者のみで差し支えない。

※調整内容(要旨)欄は、申請者が伝えた内容や相手方の反応等を中心に簡潔に記載すること